



森ボラ 通信

第115号 2011年12月20日発行
NPO法人北海道森林ボランティア協会

URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>
札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6ラルズビル3F

Tel.(fax.):(011)816-7010

E-mail : hshinrin2002@nifty.com

■ トピックス

◆ 地拵えとA0層

最近A0層に関連したことを2回耳にしましたのでここに皆さんと認識を共有するために当協会がCGCの森で行っている地拵え地拵えの基準を書きました。

- 8月末に東大演習林に行ったときの田山さんの森ボラ記事と深町さんのNHK報告「土砂を採取した跡地には天然更新したエゾマツの見事な群生——」「エゾマツは雑菌にとっても弱く倒木更新とか人による土砂の採取などで表面の有機物の層が失われた場所ですとか、火山灰が積もった場所などで芽が出るそうです。」(酒井注:A0層には植物を育てる菌も阻害する菌もいるそうです。)
- 10月初旬 ある植樹祭のときにお客様が「土が硬くて穴が掘れない」といいました。そのあとサポートしていた若い人が「A0層が掘り取られてしまっている」といい私は「全くその通りです」とゆうしかありませんでした。(注:この植栽地の地拵えはブルで表土を押しているのです。)
- A0層出展 福岡県森林林業技術センター「森林に入って地表面を見渡すと、落ち葉や、枝が堆積しています。堆積した落ち葉や枝をのけると、形が少し残っているか、あるいは殆ど形が残っていない葉や枝が分解された腐植がみられます。この土壌の上に乗っている落ち葉や腐植からなる部分を落葉腐植層(A0層)といいます。」

CGCの森の当協会の業者向け地拵え基準

1. 残存木(DBH5cm以上)の周囲半径2m以内は地拵えしないこと。(根を傷めない)
2. 伐根除去はグラップルで行うこと。
(ブルで押さないこと)
3. ボサ(伐根枝条)は残存木を傷めないよう自然発生列に置く。(肥料列気にしない)
4. レーキによる地拵えは深さ15cmとしA0層を除去しないこと。



■ 現場より

◆ CGC 烏柵舞の森看板設置完了

11月25日(金)木枯らし吹き抜ける寒い中、参加者5名は(株)今造園の助けを借りて、来年本格的な植栽活動地となる国有林烏柵舞5336林班(22,82ha)に看板を設置しました。

書家、樋口雅山房先生デザインの躍動感溢れる文字は大自然によくマッチしていましたが、我が協会員による彫りの素晴らしさにも感動しました。

来春には大勢の会員の皆さんに見て貰えることを期待しています。

「北海道CGCみどりところの基金」事務局長・谷口氏も作業道等の視察を兼ねて参加しました。

(記・事務局)



◆ 2011 りんご園援農を省みて

今年の斉藤りんご園の援農は、3月下旬の朽ちた倒木の抜根処理に始まり、摘花・摘果・葉もぎに続き、収穫をしながら葉もぎを繰り返して、11月9日(水)に「ふじ」の収穫を最後に終了いたしました。

援農に参加していただいた皆様、ご苦労様でした。今年はりんごの木の倒木処理と樹園の木の貸付けにより、作付け面積が大幅に減り、そのため、後半の援農の作業日数が少なくなる中で、援農が終了したところです。

春先の花つきの状況を見て、豊作を予感しましたが意外にもりんごの実が大きくなりすぎて、全体的な個数が少なく歩留まりが悪い結果になり、そしてまた、今年は札幌各地に熊が出没しておりますが、りんご園には狸(13匹捕獲)が出没し、畑の落ちりんごを食い荒らされるなど、色々なことが重なって直売のりんごが品薄状況になり、訪れる市民がりんごを購入できない状況が何日も続き、特に毎年訪れるリピーターの人たちを残念がらせていたのが印象的でした。

昨年よりはりんごの収穫量は減収とはいえ、我々ボランティアも市民を楽しませる役割の一助となっているのかなと、僭越ながら勝手に思ったところです。

年々歳を重ねる斉藤夫婦、決して五体満足とは言えない体で、必死に頑張る姿に感銘するとともに、来年も希望を持って就農されることを祈念し、我々も更に支援できればと思う次第です。(記・幕田)



■ ひとこま

◆ ニトリ応援基金事務局札幌市澄川都市環境林訪問

11月24日（木）『ニトリ北海道応援基金助成事業』事務局担当の柿崎氏が現場視察に来られました。

今年度“札幌市澄川都市環境林における学童・学生対象の森林教育環境整備”活動に対して助成を戴き4月から活動を開始しました。作業は順調に進められ完了時の目標に挙げられていたバイオトイレの設置、雨宿り場所の設置、歩道標識設置のための歩道整備及び標識板の作成は完了し、子供達でも安全・安心に歩くことが出来る林内の歩道環境は向上されました。

今後更に幼稚園児や小学生が親子で森林体験が可能な環境にまで整備を進めたいと願っています。

ニトリさんは東日本大震災の復興に多大な支援を継続されている中で我が協会にも多くのご支援を戴き感謝しております。（記・事務局）



◆ 忘年会 ーカルルス温泉にてー

今年の忘年会は12月7～8日、3年前と同じカルルス温泉ホテル岩井にて行われた。

往きのバス車中では酒井代表から来年度の10周年記念行事等の話があった。宴会は大窪さんの司会で、私は夢の中だったが、大抽選会・二次会と恙なく終わった。

翌日、苫小牧博物館では樽前山噴火によって生じた地層・ミズナラの二重根等の展示物を学芸員の丁寧な解説で1時間余りの見学時間だったが、予想以上に内容が充実している博物館であった。次に漁港近くの市場で魚介類の買物・食事を済ませ帰路についた。

最後に、斉藤リンゴ園・今造園そして会員の湯沢さん・永田さん他からの沢山の頂き物で宴会は盛り上がり、また沢山のお土産も出来、ありがとうございました。

（記・釣井）



博物館学芸員からの館内展示物の説明・解説があり、苫小牧を取巻く地形、支笏湖環境と自然環境の多くを学んだ。



■ 今月の幹事会

出席者：市山・荻田・樫棒・酒井・高野・津金・釣井・西野(梯)・矢澤・和田
審議および決定事項

- 1 24年1月スケジュール・報告事項(烏柵舞の森看板レプリカ作成・助成対応 (e-水))
- 2 HP への対応
- 3 12月例会、10周年記念行事の対応
- 4 活動5ヵ年計画(調整)及び2012年度活動計画の骨子
- 5 委員会報告 広報委員 (HP 対応他) ・業務委員 (作業計画他) ・助成委員 (損保ジャパン他) ・研修・企画委員 (セミナー依頼状況)
- 6 その他 ・忘年会会計報告・北海道 CGC の森 23 年度事業報告・札幌市清掃事務所冬期駐車場の件
・「ニトリザクラ」の件

■ 活動履歴

活動日	行事・活動地	参加数	活動内容
11月18日(金)	澄川	12	樹木園整備・除伐・製材
11月24日(木)	澄川	15	樹木園整備・除伐・製材
11月25日(金)	支笏湖 烏柵舞の森	5	看板設置
11月27日(日)	幌南小学校/野幌	1/2	学習発表会/講演会
11月29日(火)	ラルズビル	4	看板作成
11月30日(水)	ラルズビル	3	看板作成
12月1日(木)	ラルズビル	4	看板作製
12月2日(金)	澄川	14	樹木園整備・除伐・製材
12月5日(月)	ラルズビル	4	看板作成
12月6日(火)	ラルズビル	4	看板作成
12月7日(水) ～8日(木)	カルルス温泉(一泊2日)	18	2011年度忘年会・活動反省会
12月12日(月)	幹事会	10	定例
12月14日(水)	澄川	11	樹木園整備・除伐・製材
12月15日(木)	リンケージプラザ	19	会員例会・セミナー

◆ 冬季セミナー(リンケージプラザ)の予定(研修企画グループ・事務局)

※各セミナー開始時間は活動参加申込書で確認してください。

■ 2012年1月18日(水)

- ・「北海道の薬草、山菜、毒草」講師：主査(植物毒)佐藤 正幸 氏
(北海道立衛生研究所・理化学部薬品保健グループ)
- ・「ようこそ国有林」講師：所長 志鎌 睦 氏
(北海道森林管理局・石狩地域森林環境保全ふれあいセンター)

■ 2012年2月20日(月)

- ・「リンゴ園の作業について」講師：園主 斉藤 允男 氏
(札幌市西区山の手442・りんご果樹園経営)
- ・「森と川と海のつながり」講師：主査(流域保全)長坂 有 氏
(北海道総合研究機構・林業試験場森林環境部機能グループ)

■ 2012年2月22日(水) (13:00～16:00)

- ・普通救命講習 (札幌市防災協会)

なお、3月のセミナーについてはボラ通1月号にて別途ご案内いたします。